

授 業 科目名	【 G 】	法思想史	区 分		開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	法思想史	その他参照			【 H 】 3		【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	法と正義の歴史を学ぶ					担当者	大上 尚史	
授業概要	【概要】	法思想史では、近代の西洋法の思想を学びます。法の思想史では、法という概念を中心に、正義、自由、平等、国家、民主主義などの様々な観念が考察されてきました。 この授業では、現代社会においても重要視される正義、自由、平等などの概念が、法との関係でどのように論じられてきたのかを学びます。ホッブズ、ロック、ルソー、カント、ヘーゲルという5人の哲学者の法理論を取り上げます。それぞれが国家、法、正義、自由、平等などの概念についてどのような見方を取っていたのかを学ぶことを通して、それらが現代においてどのような意義をもつか考察します。						
	【到達目標】	①近代から現代に至る法思想の大まかな流れを説明することができる。 ②法と、正義、自由、平等などの諸概念の関係を説明することができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	合わせて法哲学(ⅠおよびⅡ)を受講すると、現代社会における正義、自由、平等に関わる法的諸問題について学ぶことができます。							
教科書	深田三徳・濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』(第2版、ミネルヴァ書房、2015年)							
参考書	授業中に、適宜、レジュメを配布します。							
評価方法	学期末レポート(100%)によって評価します。							
フィードバック 方法	出席確認を兼ねて、リアクションペーパーを実施することがあります。リアクションペーパーで寄せられた質問等については、次回授業時の冒頭に回答します。学期末レポートは、採点・評価後に解答ポイントについて解説します。							
評価基準	上記授業の内容について、これを良く理解し、適切に表現できた者には「A」(うち特に優れたものには「S」)を、授業の内容についての理解や表現に不適切な点がある者には、その程度に応じて「B」または「C」を、授業の内容についての理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」を与えます。学期末レポートが未提出である等、評価不能の場合には「F」とします。							

授 業 科目名	【 G 】	法思想史	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	法思想史	その他参照		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	法思想史で何を学ぶか						
	予習:	教科書の目次、導入部を読んでおくこと。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
2	近代自然法論						
	予習:	教科書12-13頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
3	ホッブズの法思想①自然状態						
	予習:	教科書14-15頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
4	ホッブズの法思想②国家、主権、法						
	予習:	教科書14-15頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
5	ロックの法思想①自然状態						
	予習:	教科書16-17頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
6	ロックの法思想②所有権論						
	予習:	教科書16-17頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
7	ルソーの法思想①自然状態						
	予習:	教科書20-21頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
8	ルソーの法思想②一般意思						
	予習:	教科書20-21頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
9	カントの法思想①認識論						
	予習:	教科書22-23頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
10	カントの法思想②道徳論						
	予習:	教科書22-23頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
11	カントの法思想③法と自由						
	予習:	教科書22-23頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
12	ヘーゲルの法思想①自由論						
	予習:	教科書24-25頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
13	ヘーゲルの法思想②法、道徳、人倫						
	予習:	教科書24-25頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
14	ヘーゲルの法思想③家族、市民社会、国家						
	予習:	教科書24-25頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	予習時の疑問点が解決したか教科書を読み直す。(120分)		
15	総括(学期末レポートの解説を含む)						
	予習:	法思想史を学んで生じた疑問をまとめる。(60分)		復習:	質疑応答を通して、理解したことをまとめる。(120分)		
その他	授業中の私語が著しい場合や他の受講者の迷惑となることをしている場合には、退室をお願いすることがあります。 授業の予習復習以外に、レポート作成のための授業外学習が必要となります。主体的な姿勢での取り組みを望みます。 ※G・Hカリ:【選択必修修(ス)】						